

2022年4月1日

## 2022年度予算について

青山学院財務部

青山学院の2022年度（以下、当年度）資金収支予算及び事業活動収支予算は、予算会議の議を経て、収益事業部予算とともに、本年3月24日開催の評議員会の意見を聴いた後、同日開催の理事会で承認されました。

当年度の予算編成に先だち、2021年7月1日に理事長名で「青山学院2022年度予算編成方針」を各設置学校及び法人各部署に発信しました。具体的には、「①教育活動収支差額での収入超過、②安定的な収入の確保、③寄付金増収への取り組み、④予算の有効性の検証、⑤学校間競争力の確保」などを予算編成の留意項目とし、経常収支差額の確保に向けた目標を示しています。

また、ウィズ・コロナ、アフター・コロナを前提に、コロナ対応諸施策を引き続き実施していくとともに、教育環境の整備を推進するための予算を計上しております。

当年度予算の収入面では、学生生徒等納付金について、大学のコミュニティ人間科学部の学年進行、大学をはじめ各設置学校における学費改定効果などによる増収はありますが、入学検定料や施設設備利用料などは、依然として厳しい状況を見込んでおります。

一方支出面では、幼稚園園舎建替計画、大学新図書館棟建築計画、AOYAMA VISIONの実現に向けた施策等を予算に計上いたしました。また各設置学校、法人各部署では、予算の内容全体を見直し、「困難な中での創意工夫」を意識して、取り組むべき施策のための予算を織り込んでおります。

当年度実施予定の主な支出項目としては、

- ① AOYAMA VISIONの実現に向けた施策のための費用
- ② 幼稚園園舎建替計画費用（既存建物解体撤去、設計等）
- ③ 大学新図書館棟（仮称）建築計画費用（インフラ接続工事等）
- ④ 既存設備の更新費用（エレベータ更新工事、熱源更新工事等）
- ⑤ 非構造部材の耐震化費用（大規模天井改修、校舎外壁改修）

等を計上しております。

以上